

6G-B9

水平偏向増幅用ビーム管

6G-B9 は高パービアンスのビーム出力管で、特にテレビ受像機の水平偏向増幅用として高効率な動作をするよう設計されております。大電力容量をもっているので、広角偏向ブラウン管を十分に偏向させることができます。6G-B9 は 6DQ6-A のベース、外形のみを変更したので、電気的特性は全く同一であります。

カソード

ヒータ電圧	6.3V
ヒータ電流	1.2A

外形 38-27A

6G-B9

東芝真空管ハンドブック

電極間静電容量 (概略値)

グリッドとプレート間	0.55pF
入力側	15pF
出力側	7pF

特性 (A₁ 級増幅)

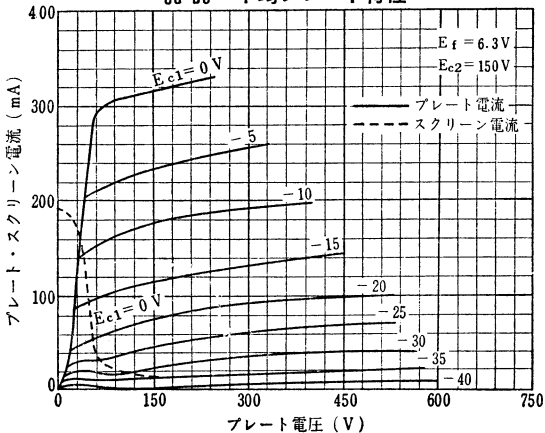
プレート電圧	60	150	250V
スクリーン電圧	150	150	150V
グリッド電圧	0	-22.5	-22.5V
増幅率 (三結)	—	4.1	—
プレート内部抵抗	—	—	約 2000Ω
相互コンダクタンス	—	—	6600μ Ω
プレート電流	300*	—	75mA
スクリーン電流	27*	—	2.4mA
プレート電流 1mA となるグリッド電圧	-46V		

水平偏向増幅**

最大定格 (設計中心値)

プレート電圧	直流値 (ブースト電圧を含む)	最大	700V
	正パルス尖頭値***	絶対最大	6000V
	負パルス尖頭値	最大	1375V
スクリーン電圧		最大	200V

6G-B9 平均プレート特性



東芝真空管ハンドブック

グリッド電圧	直流値……………	最大	-50V
	負パルス尖頭値……………	最大	300V
カソード電流	直流値……………	最大	140mA
	尖頭値……………	最大	440mA
スクリーン損失……………	最大	3W	
プレート損失****……………	最大	15W	
ヒータ・カソード間電圧	ヒータ負尖頭値……………	最大	200V
	ヒータ正尖頭値……………	最大	200V(直流分100V)

バルブ温度……………最大 220°C

グリッド抵抗 グリッド抵抗バイアスのとき……………最大 1.0MΩ

*プレートおよびスクリーン損失が定格をこえないように繰返し波形を加える等の方法で測定する。

**走査線数 525 本、フレーム数30の標準方法におけるもの。

***パルスの持続時間は水平走査周期の15%、すなわち 10μsec 以下のこと。

****グリッド入力信号のなくなったときプレート損失が過大とならないようにカソード抵抗等の適当な保護手段を施すことが望ましい。

6G-B9 平均プレート特性

